

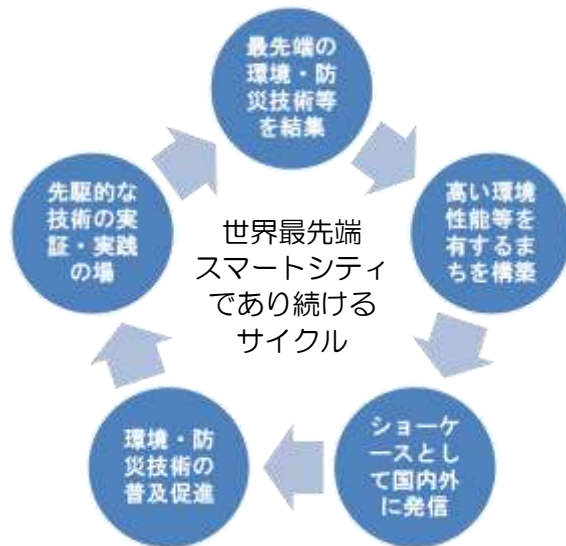
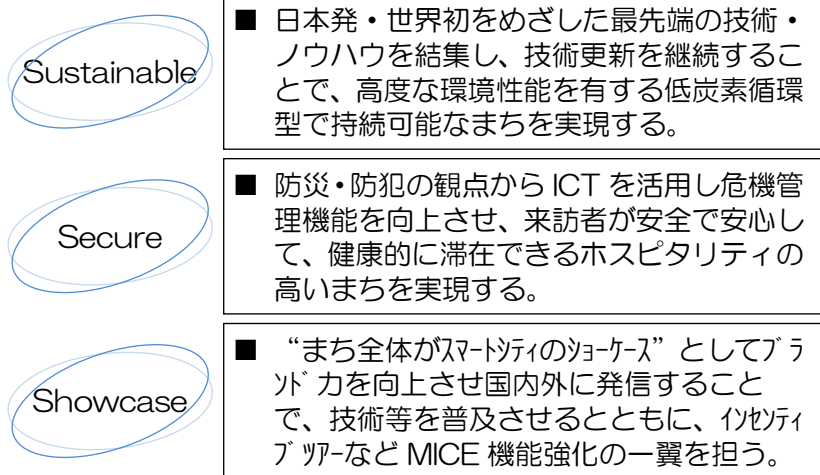
6. 夢洲がめざす都市空間 II 環境・エネルギー ~ゼロエミッション・アイランド 夢洲の実現をめざして~

(1) スマートシティの実現に向けて

背景とめざす方向

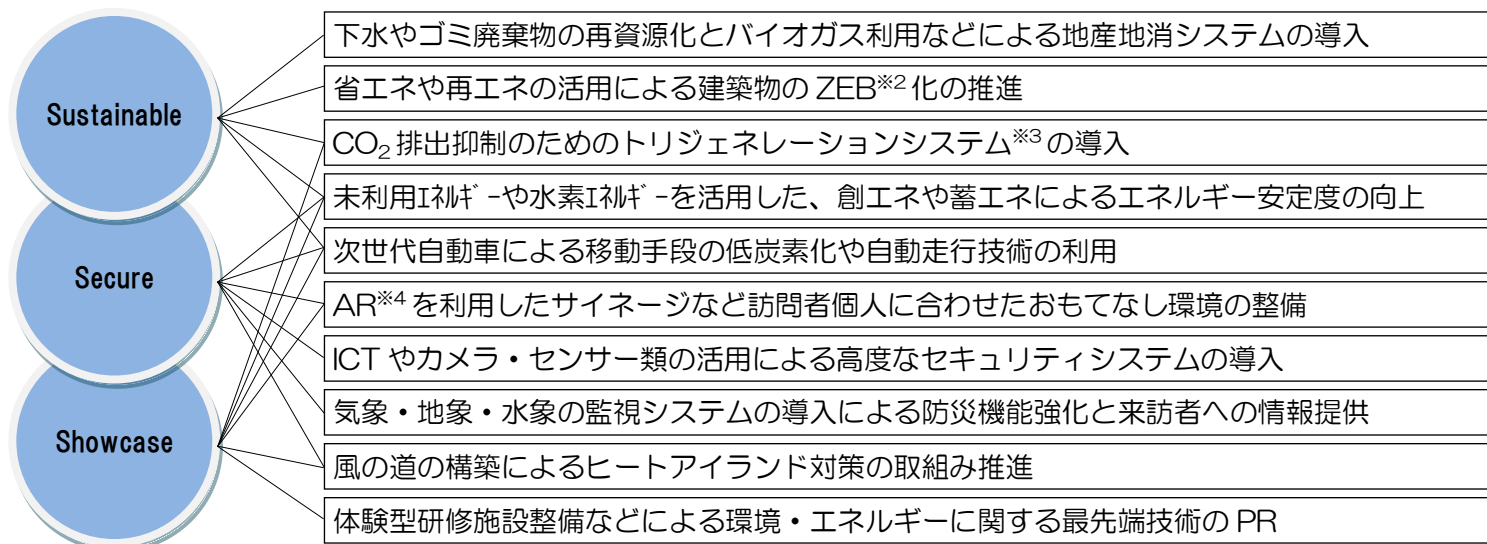
- ◎ 低炭素社会の実現と持続可能な環境は国際的なコンセンサスであり、高度な環境・エネルギー技術を有機的に組み合わせることで環境に優しいまちを実現する。
- ◎ 東日本大震災以降、より一層レジリエントなまちづくりが求められており、災害発生時においてもライフラインが途切れないなど、まちが継続して活動できるインフラを整備し、安全で安心して滞在できるまちを構築する。
- ◎ 総合特区・国家戦略特区に指定されている利点を活かし、常に先駆的な実証・実践ができる場となるよう規制緩和も求めながら“まち全体がリアルショーケース”としてブランド化し国内外に発信する。

基本コンセプト (3S構想)



スマートシティ「ゼロエミッション^{*1}・アイランド 夢洲」の実現をめざす

(2) 期待される技術・システム・機能の具体例



【用語】
^{*1} あらゆる廃棄物を原材料などとして有効活用することで廃棄物を排出しない資源循環型の社会システム。
^{*2} (Net) Zero Energy Building 省エネや再エネの活用により、一次エネルギー消費量が正味(ネット)で概ねゼロとなる建築物。
^{*3} 熱、電気に加え、発電等の過程で発生するCO₂も有効活用するエネルギー供給システム。
^{*4} Augmented Reality デジタルに映し出した画像にバーチャル情報を重ねて表示することで、より便利な情報を提供する技術。

6. 夢洲がめざす都市空間 III 景観等 ~空間デザインの考え方~

(1) 臨海部と都心部における戦略軸



臨海部の都市空間形成にあたっては、各洲等との戦略軸(観光軸、環境軸)、及び都心部との戦略軸(水都軸)を設定し連携を進める。

- **観光軸**
 - ・ 戦略的観光拠点の形成に向けて、夢洲の観光機能と、USJや海遊館・咲洲のMICE機能等の既存機能との連携を図る。
- **環境軸**
 - ・ 環境・エネルギー分野の先進都市としてのブランド力強化に向けて、ゼロエミッション・アイランドをめざす夢洲を中心に、臨海部で実施している新エネルギーや蓄電池関連事業との連携を図る。
- **水都軸**
 - ・ 水都大阪のブランド力強化に向けて、川・舟運をテーマにした都心部観光と海をテーマにした臨海部観光との連携を図る。

(2) 夢洲の空間形成にあたっての基本的な視点

夢洲の都市空間形成にあたっては、関西の歴史・文化的背景を重んじ、新たな観光拠点の実現のため、以下の基本的な視点を踏まえて検討を進める。

- ・ まちの骨格形成
- ・ 地理的特性を活かした空間形成
- ・ ゾーンごとの特徴ある空間づくりと夢洲全体での連続性への配慮
- ・ 観光ゾーンに至る道路の空間形成の配慮



(3) 夢洲の空間デザインの考え方

1) パブリックデザイン

- **中央軸**
 - ・ まちの骨格を形成する中央軸を設定し、シンボリック景観形成を図る。
 - ・ 鉄道駅から南(水際線)へのルートは、開放的な眺望を確保し、人々の快適な移動と賑わいの形成に繋げる。
 - ・ 鉄道駅から北へのルートは、グリーンベルトや道路等により産業・物流ゾーンとのバッファ機能を設ける。
 - ・ 中央軸に面する建築物については、眺望を阻害することないように配置する。
 - ・ 建築物低層部において、歩道空間との一体感を演出する。
- **公共空間**
 - ・ 夢洲への観光来訪者に対して、ゆとりのある歩道空間を確保し、中高木等によるみどりの空間を創出する。
 - ・ 民間敷地内においても、道路沿線は多様な植栽等を整備し、みどりあふれる道路空間を構成する。
- **駅前広場**
 - ・ 駅前には、鉄道駅と一体となった夢洲のシンボルとなる駅前広場を配置する。
 - ・ 駅前広場は、観光ゾーンと調和のとれた空間・景観形成を図りつつ、バスやタクシー等の適切な交通機能を確保し、ターミナル機能の強化を図る。

2) 観光ゾーン(水とみどり)

- **水とみどり**
 - ・ 観光ゾーンでは、水都大阪のシンボルとしての「水」と、ベイエリアをネットワークする「みどり」により、大阪・関西の玄関口にふさわしく、観光拠点の新しい顔となる魅力的な空間を創出する。
 - ・ 大阪を代表するアイコンとなるシンボル性の高い建築物を配置する。
 - ・ 中央軸を中心に、ゾーン内外のみどりをネットワーク化し、全体として一体感を演出する。
- **ウォーターフロント**
 - ・ 観光エリアにおける水際線は、貴重な水辺空間となり、来訪者が快適に過ごすことができる空間や広場、通路により、魅力にあふれ活気づく空間としての整備を図る。

3) 産業・物流ゾーン(バッファ機能)

- ・ 産業・物流ゾーンと観光ゾーン間には、ゾーン境界にグリーンベルトや道路等によるバッファ機能を設ける。
- ・ 産業・物流ゾーンにあっても、建築物の配置や外観、色彩等、観光ゾーンへの配慮を十分に行う。
- ・ 産業・物流ゾーンの出入り口、および交通動線について、ゾーン間の影響を最小限にとどめるよう配慮する。